

報道関係者 各位

2025年8月5日
トヨタ自動車北海道株式会社

ロケット ZERO のターボポンプをトヨタ自動車北海道で組立・出荷

トヨタ自動車北海道株式会社(代表取締役 取締役社長:高橋慎弥 以下トヨタ自動車北海道)は、インターステラテクノロジズ株式会社(代表取締役 CEO:稲川貴大 以下インターステラテクノロジズ)と連携し、受託生産した小型人工衛星打上げロケット ZERO エンジン用ターボポンプの初品を完成・出荷いたしました。

出荷式にはインターステラテクノロジズの稲川 CEO もお越しいただきセレモニーを実施いたしました。

ターボポンプは、ロケットエンジンの燃焼器に推進剤を送り込む“心臓部”であり、ZERO 用は、燃料ポンプと酸化剤ポンプを一体化させた「一軸式」を採用。燃料と酸化剤それぞれでポンプを分ける場合と比べて技術的な難度が高く、組立における高精度な技術と信頼性が求められる重要部品です。

当社は 2021 年よりインターステラテクノロジズ様との人的交流を開始し、2024 年夏にはターボポンプ組立に関する基本合意を締結。以降、インターステラテクノロジズ様の技術支援を受けながら準備を進めてまいりました。

ターボポンプの初品では改善点の抽出と対応をインターステラテクノロジズ様と協議しながら、慎重に組立を行いました。

今後、ターボポンプを含むエンジン全体の製造に向け引き続き連携し、高品質・低コスト・高効率な製造技術の開発を推進し、ZERO 初号機打ち上げとその後の打ち上げ高頻度化に向け 安定且つ高品質な生産体制の確立を目指しています。



【インターステラテクノロジズ株式会社 会社概要】

インターステラテクノロジズは、「誰もが宇宙に手が届く未来」をビジョンに掲げ、「世界で選ばれる宇宙のインフラをつくる」をミッションとして、国内初のロケット事業と通信衛星事業の垂直統合ビジネスを目指しています。2013年に北海道大樹町で事業を開始、観測ロケット MOMO で国内民間企業単独として初めての宇宙空間到達を達成しました。現在は、小型人工衛星専用の宇宙輸送サービスを提供するロケット ZERO を開発しています。北海道大樹本社の他、東京都、福島県、北海道帯広市に支社を有しています。

所在地:北海道広尾郡大樹町字芽武 149 番地 7

代表者:代表取締役 CEO 稲川 貴大

事業内容:ロケットの開発・製造・打上げサービス、人工衛星の開発・製造・運用サービス

URL: [インターステラテクノロジズ株式会社 - Interstellar Technologies Inc.](http://www.interstellar-techno.com)

【トヨタ自動車北海道株式会社 会社概要】

トヨタ自動車北海道は北海道の中核都市のひとつ苫小牧市で1992年に「トヨタの北の拠点」として創業しました。

オートマチックトランスミッションや CVT、ハイブリッドトランスアクスルなど、時代の流れに合わせた製品を供給する駆動系ユニットの生産拠点として、トヨタの目指す「もっといいクルマづくり」に取り組んでおります。

当社は、トヨタの DNA である「トヨタ生産方式」や「カイゼン」といったモノづくりの考え方を受け継ぎ、常にその技術・技能を磨き上げながら国内外の車両工場へ良品廉価な製品を供給し続けております。

また、こうして培ったものづくり力を地域の皆様にお役立ていただこうと、近年では産業の垣根を超えたものづくりサポートや地域と連携した取り組みも進めております。

所在地:北海道苫小牧市字勇払 145 番 1

代表者:代表取締役 取締役社長 高橋 慎弥

事業内容:自動車部品の製造(CVT、ハイブリッドトランスアクスル、トランスファー、鍛造部品)

URL: [トヨタ自動車北海道株式会社](http://www.toyota-hokkaido.com)



以上

〈本件に関するお問合せ先〉

トヨタ自動車北海道(株) 総務部 総務室 渉外・広報G 葉廣(ハビロ)まで

(連絡先) E-mail : h_habiro@tmh.co.jp

電話 : 080-5389-2244